

以下のデータは、英辞郎 Ver. 150（2017年6月28日版）で追加されたデータのうちの
一部です。このサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

コンピューター／インターネット

■auto fire {1} : 自動連射◆シューティングゲームなどにおいて、何らかの簡単な
操作により、ボタンやキーを手動で連打したのと同じ効果が発生させること。場合に
よっては、チート（不正行為）に当たる。

■auto fire {2} : 自動車（の）火災◆【同】car fire

■bio 3D printer : [生体組織を作り出すための] バイオ 3D プリンター

■button masher {1} : 〈俗〉ボタンの早押し [高速なボタン操作] が必要なゲーム、
(ボタン) 連打系ゲーム

■button masher {2} : 〈俗〉《ゲーム》[コントローラーなどの] ボタンをめちゃく
ちゃに押しまくる人 [初心者]

■button mashing : 〈俗〉《ゲーム》ボタン連打 [乱打] ◆《1》連射・高度な技など
を実現するために、ボタン類を素早く連続して押すこと。《2》激情に駆られたプレー
ヤーなどが、ボタン類をめちゃくちゃに押しまくること。◆【参考】auto fire

■cheat code : チートコード◆ビデオゲームやコンピューターゲームのプログラムの
一部で、裏技のような操作を可能にするためのもの。典型的には、開発時のテストや

デバッグ作業のために存在し、隠しコマンドによって実行される。

■computer-related vision problems : パソコン (作業) による視覚障害

■content-control software : コンテンツ管理ソフトウェア◆アクセスするコンテンツを制限するソフトウェア。

■digitally sign a PDF file : PDF ファイルに電子 [デジタル] 署名を行う [付与する]

■drunk text : ドランク・テキスト◆酔っばらった状態で作成・送信したメールまたはメッセージ

■encrypted for privacy : 《be ~》プライバシー保護のため暗号化され (てい) る

■hidden command : 隠しコマンド

■infect millions of computers : [ウイルスが] 数百万台ものコンピューターに感染する

■invisible window : 不可視ウィンドウ

■non-intuitive interface : 〈通例批判的〉直感的でないインターフェース

■security token : セキュリティー [認証] トークン◆銀行口座などへのアクセス時に、パスワードの入力などの代わりに認証を行う電子的な装置。カードや USB メモリーのような形態を取ることが多い。

■undocumented command : [隠しコマンドのような] 文書化されていないコマンド、仕様書 [ドキュメント] には記されていないコマンド

■video game console : 家庭用ゲーム機◆【同】 console ; home console ; home video

game console ; home gaming system ; video game equipment

医学

- as part of someone's rehabilitation : (人) のリハビリの一環として
- assess the patients' health status : 患者の健康状態を分析する
- benefit both someone's mental and physical health : (人) の心身の健康に良い
- bikini medicine : ビキニ医学◆女性の乳房および生殖器官に特化した医療行為や医学的研究
- blood vessels surrounding the brain : 脳の周りの血管
- cancer patient on chemotherapy : 《a ~》化学療法を受けているがん患者
- crowd-birthing {名} : 大人数での立ち会い出産◆家族・親戚・友人など多くの人(crowd)が立ち会う出産
- liquid biopsy : リキッド・バイオプシー、液体生検◆患者から採取した体液(血液・唾液・尿)の中に、腫瘍から放出された DNA 断片が含まれていないかを調べる検査
- liquid biopsy : リキッド・バイオプシー、液体生検◆患者から採取した体液(血液・唾液・尿)の中に、腫瘍から放出された DNA 断片が含まれていないかを調べる検査
- open trial : [盲検法によらない] オープン [非盲検] 試験◆【対】blind trial

■Orthorexia nervosa : オルトレキシア・ナーボウサ◆正しい (=健康に良い) と信じる物だけを食べることに執着する神経症◆【語源】ギリシャ語 ortho- (正しい) + -rexia (食欲) + nervosa (神経症) ◆【略】ON

■pain-sensitive nerve cells : 痛みを感じる神経細胞

■reduce the occurrence of migraines : 片頭痛の発生回数を減らす

■relay signals between cells : 細胞間の信号の伝達を行う

■triple-blind study : 三重盲検試験

■verbicaine {名} : 言葉による麻酔◆手術前、または麻酔薬を用いない手術中において、医師や看護師が患者を安心させるために発する言葉。◆【語源】verbal (言葉による、口頭の) + -caine (麻酔薬) ◆【同】vocal anesthesia

■wealth care service : 〈俗〉富裕層向けの医療サービス

その他

■adulthood {名} : 大人の事、責任ある大人らしい行動を取ること

■aerial dominance {1} : 空域を支配して [制空権を握って] いること◆戦争などにおいて。◆【類】air supremacy [superiority]

■aerial dominance {2} : 〈比喩的〉空中戦での強さ [優位に立つこと] ◆球技などにおいて。例えば、チーム内にジャンプ力の高い選手がいる場合。

■anti-protectionism {名} : 反保護 (貿易) 主義◆不可算

■barely legal : 《be ~》違法すれすれである

■beaten hands down : 《be ~》完敗する、あっさり負けてしまう、[相手が強過ぎて]まるで歯が立たない

■behemoth burger : 巨大(ハン)バーガー

■beyond incredible : 《be ~》〈話〉想像を絶する素晴らしさである、めちゃくちゃすごい

■biflation {名} : 《経済》バイフレーション◆一つの国または経済圏でインフレーションとデフレーションが同時に発生している状態◆【語源】bi- (二重の) + inflation◆【同】mixed inflation

■Brexit minister : 〈英〉EU 離脱担当大臣

■Brexiter ; Brexiteer {名} : EU 離脱支持者◆英国の EU 離脱に賛成する人

■bring the munchies : 〈話〉[イベントやパーティーの参加者などが]スナック [(軽い)食べ物]を持参する [持ってくる]

■comfortable margin of victory : 余裕の点差、余裕を持って勝利できるような得点 [得票] 差、[ライバルに大きく差をつけていて]負ける [逆転される] 心配が全くない状態

■consider a problem from multiple perspectives : いろいろな角度から問題を考える

■coquettish smile : 《a ~》こびるような [こびを売るような・あだっほい・小悪魔的な] (ほほ) 笑み

■damn glad to : 《be ~》〈俗〉~してめちゃくちゃうれしい◆丁寧な言い方ではな

い。

■dashboard camera : [カー用品の] ダッシュボード・カメラ、車載カメラ、ドライブレコーダー◆【同】dashcam

■derail someone's career : (人) を出世コースから外す、(人) の出世を阻む、(人) のキャリアを破綻させる [台無しにする]

■derail someone's life : (人) の人生を脱線させる [狂わせる]、[主語が原因で] (人) が人生を踏み外す

■dopamine dressing : ドーパミンを増やす服装 [ファッション] ◆自分の気分を高揚させる衣服を着ること

■double-decker tram : 《a ~》2階建て (の) 路面電車

■dress up like a maid : [コスプレやイベントなどにおいて] メイドの (ような) 衣装を着る、メイドの扮装をする

■dressed from head to toe in pink : 《be ~》全身ピンク色の装い [いでたち] である

■even as we speak : 今こうして (話して) いる最中も [間に (も)]、きっと今ごろ

■F-bomb {名} : F 爆弾◆会話の中で fuck を使ってしまうこと。

■fappy {形} : 〈俗〉[人が] 太ってるけど幸せな [人生に満足している] ◆【語源】 fat + happy

■feel suicidal : [つらい状況にある人などが] 自殺したい気分である

■fire a warning shot at {1} : (人) に対して威嚇射撃を [警告として発砲] す

る

■fire a warning shot at {2} : 〈比喩的〉～にけん制球を送る [投げる]、～に対してくぎを刺す発言をする◆例えば、勝手なことをする人に対して（あるいは好ましくない状況について）、「改善が見られないようなら強硬措置を取る」という趣旨の警告を行うこと。

■flash sale : フラッシュセール◆短期間に限定して、特別価格で商品売り出し、消費者の購買意欲を刺激するマーケティング手法

■floor it : 〈話〉アクセルをべた踏みする、アクセル全開で車を走らせる◆暗黙の了解として、it はアクセルペダル (the gas pedal) を指す。◆【同】floor the gas pedal

■foolish consistency : 愚かな [愚かしい] 首尾一貫性◆通例、直前に冠詞の a が置かれる (a foolish consistency)。「首尾一貫性 (概念) は愚かしい」というわけではないが、「首尾一貫性の中には愚かしいもの (種類) もある」という意味。

・ A foolish consistency is the hobgoblin of little minds. : 愚かな首尾一貫性は、狭い心が化けたもの [狭量な精神に巣くう魔物] である。◆エマーソン (Ralph Waldo Emerson) の言葉。硬直した教条主義・前例踏襲主義を批判し、「前言を翻すのは格好悪い、といった執着にとらわれると、自由に考えられなくなる。偉大な思想家は過去の自分に縛られない」と説く。

■full of zip {1} : 〈話〉元気いっぱい

■full of zip {2} : 《full of zips》〈英〉[服・かばんなどについて] ジッパー [ファスナー・チャック] だらけ

■gazinta {動} : ~の中に入る◆子どもっぽい、ユーモラスな雰囲気を持つ視覚方言。標準英語の goes into に当たる。◆【参考】go into

・ 4 gazinta 12 three times. : 4は12の中に3回入っちゃう。／12割る4は3。

■get rid of evidence : 《get rid of (the) evidence》[悪事の発覚を恐れる人などが] 証拠を消す [隠滅する]

■go back to one's ex : 〈話〉元恋人と再び付き合い始める、昔の[別れた]恋人とよりを戻す

■gun control freak : 〈話・否定的〉やたらと銃規制を主張する人◆銃規制に反対する立場の、一部の人々が使う表現。◆【参考】control freak

■haunted road : 幽霊が出る道◆「その場所で死んだ人が化けて出る」といったうわさ・目撃談がある場合。

■have a good laugh at someone's expense : (人)をネタに[からかって]大笑いする、(人)を笑いものにして大いに楽しむ、[主語(からかう者など)によって](人)は大笑いのネタにされる◆その人にとっては一緒に笑える状況ではなく、不愉快である場合。

■have a split end : [主語(の髪)には]枝毛がある◆「枝毛1本」を指す場合を除き、複数形で使われることが多い(have split ends)。

■have been divorced twice : 2回の離婚歴がある、バツ2である

■hay cube : ヘイキューブ◆《1》アルファルファなどの植物を乾燥させて、手のひらに乗るくらいの大きさの立方体の形に固めたもの。ペットの餌などとして使われる

ことがある。《2》立方体状のベール（酪農などで使われる大きな牧草の塊）。

■hot with embarrassment : 《be ~》〔頬・顔などが〕恥ずかしさで火照る〔赤くなる〕、〔体などが〕恥ずかしさで火照る◆さまざまな気恥ずかしい状況を表す。本人に非がない場合や、本人が被害者である場合も含まれる。

■household brand : ハウスホールド・ブランド◆一般家庭で受け入れられているブランド。例えば、Coca-Cola、Heinz、Kellogg's、Kleenex、Lux、Nabisco など。

■iceberg home : アイスバーグホーム、氷山のような家〔住宅〕◆地上（1階より上）の部屋の延べ床面積よりも広い地下室を持つ家。◆【語源】地表面から見えるのは氷山(iceberg)は、その一部だけであり、大部分は海面下にあって見えないところから。

■in a trial separation : 《be ~》〔離婚を望む人が〕試験的〔お試し〕別居中である

■job dissatisfaction level : 仕事への不満度

■kind of an anti-climax : 《be ~》何だか拍子抜け〔期待外れ〕である◆盛り上がってきたところで、急につまらないことが起きる場合。期待が高まっていたのに、結論がつまらない場合。

■Latinx {名・形} : 〈米〉ラテンアメリカ系住民(の)◆【参考】Latina ; Latino

■launch price {1} : 〔商品の〕発売(時の)価格

■launch price {2} : 〔ロケットや人工衛星の〕打ち上げ価格

■least favorite food : 《one's ~》一番嫌いな食べ物

■litany of failures : 《a ~》失敗に次ぐ失敗、失敗の連続◆うんざりするほど、

何度も何度も失敗すること。◆failures の代わりに単数形 failure が使われることもある。その場合、failure は不可算名詞として扱われている。

■look bad in front of : (人) の前で面目を失う [醜態をさらす]、格好悪いところを (人) に見られてしまう、[格好悪いところを見られてしまい] (人) の前で恥をかく

■make perfect sense to : (人) にとって完全に納得のいく [非常にもっともな] 話である、[主語について]「全てつじつまは合う」と (人) は感じる

■math-speak {名} : 〈話〉数学語 [方言]、数学特有の言葉遣い

■media behemoth : メディア界の巨人、大手マスコミ、巨大なマスコミ企業

■metaphysical painting : 形而上絵画

■nasty co-worker : [職場などにおける] 意地悪な [意地の悪い・嫌な感じの] 同僚

■nasty weapon : 残虐な [たちの悪い] 兵器、恐ろしい武器◆一般的な兵器・武器より、さらに残酷な仕組みのもの。例えば単に爆発するだけでなく、鋭利な破片を飛び散らせる爆弾。

■no way, no how : 〈話〉何が何でも [どんなやり方でも] 絶対~ない、絶対駄目で [あり得ない] ◆典型的には、No way! の強調表現 (No way, no how!) として使われる。

◆【類】 never ever ◆【参考】 No way.

■not someone's thing : 《be ~》〈話〉(人) の好き [得意] な事柄ではない、(人) の好み [趣味・性格] に合わない

・ Math is not my thing. : 数学は、私の得意分野ではありません。／私は、数学が不得意です。

・ Classical music is not really my thing. : クラシック音楽は、ちょっと私の趣味には合いません。／私は、別にクラシック好きでは [普段クラシック音楽を聴くような人間では] ありません。

■not out of the woods yet : 《be ~》まだ危機を脱したわけではない、[主語の]問題はまだ完全解決していない、[主語にとって・主語について] 安心するのはまだ早い

■not the answer to everything : 《be ~》あらゆる問題に対する答えというわけではない、[ある種の問題の解決には有効かもしれないが] 万能薬ではない、[主語によって] 全てが解決する [できる] わけではない

・ Technology is not the answer to everything. : 科学技術で全てが解決できるわけではありません。／テクノロジーでは解決できない問題もあります。

■not the only fish in the sea : 《be ~》唯一の恋人候補ではない、[主語に] 振られたなら別の相手を見つけられただけの話である◆【直訳】海の中の唯一の魚ではない⇒「主語への恋が駄目でも、まだ他にも恋の相手はいる」という意味の慣用句。

◆【参考】There are plenty of fish in the sea.

■officially suck : 〈俗〉本当に [はっきり言って] ひどい、まじ最低である

■on the midterm {1} : [学期などの] 中間 (試験) において

■on the midterm {2} : 《be ~》[授業の内容・特定の種類の問題などが] 中間試

験に出る [出題される]

■outside-the-box thinker : 既存の枠にとらわれずに思考する人、考え方が独創的な人、独創的な考え方をする人◆【参考】think outside the box

■over backward {1} : [体を] 後ろに反り返して

■over backward {2} : <比喻> 精一杯 (の) 努力をして

■overtime cap : 残業上限 (規制) ◆政府や企業が労働者に対して規定する残業時間または残業賃金の上限

■Perspex {商標} : パースペックス◆頑丈な透明合成樹脂の板。航空機の防風ガラスなどに使用される。◆【参考】<https://perspex.com/>

■piem {名} : パイエム◆円周率(3.14159265358979...)の暗記法。数字をその文字数の単語に置き換えて、文章を作って暗記する方法。例えば、“How I need a drink, alcoholic in nature, after the heavy lectures involving quantum mechanics.” の各単語の文字数を並べると、314159265358979 となる。◆【語源】pi + poem

■post-truth {形-1} : 真実が無関係になった後の (時代の)

■post-truth {形-2} : [政治家の発言などが] ポスト真実の、脱真実の、客観的事実よりも人々を納得させる、人々に感情的に真実と思わせるうその

■pull out the big gun : <話> 奥の手 [もっと強力な方法] を使う◆big gun は複数形(big guns)で使われることが多い。

・ It's time to pull out the big gun(s). : もっと強力な方法を使うべきときです。

／こうなったら奥の手だ。

■ram a car into : [無差別殺人者・テロリストなどが] 車 [自動車] で~に突っ込む [体当たりする]、車を~に突入 [激突] させる

■reimagination {名} : [物事の解釈などにおいて] あらためて想像する [別の視点から考え直す] こと、新たなイメージを与えること

■reimagination {名} : [物事の解釈などにおいて] あらためて想像する [別の視点から考え直す] こと、新たなイメージを与えること

■reinvent history : 歴史を書き換える [再構成する]、歴史に新たなイメージを与える、新しい歴史をつくる◆良い意味・中立的な意味で使われることもあるが、「史実をねじ曲げる」という悪いニュアンスを持つことが多い。

■roll out four new smartphones : 新しいスマートフォン4機種を発表する

■sandscape {名} : サンドスケープ、砂の風景◆砂浜・砂丘・砂漠などの砂が自然に作り出した芸術的な模様または風景◆【語源】sand (砂) + -scape (~の風景)

■someone fun to be around : 一緒にいて楽しい (愉快的な) 人

■spiralizer {名} : スパイライザー◆野菜を細長く、らせん状にカットできる調理器具◆【語源】spiralize (らせん状にする) + -er (~するための物)

■stone-cold fox : <俗> 絶世の美女 [美男子]、超セクシーな人◆この stone-cold は褒め言葉。◆fox は、かつては「セクシーな女性」を指したが、後には「セクシーな人」一般を指すようになった。

■stone-cold masterpiece : <俗> 素晴らしい [押しも押されもせぬ] 名作◆この stone-cold は褒め言葉。「(完璧かどうかは別として) しっかりとした内容を持つ傑作」

を指す。

■stuffocation {名} : 物が多過ぎて窒息しそうな状態◆【語源】stuff (物) + suffocation (窒息)

■suck a fat one : 〈俗〉まじ最低 [全くもって最悪] である、めちゃくちゃひどい、超ださい◆荒々しい表現。

■suffer from a broken heart : 失恋で苦しむ [つらい思いをする]、失恋して傷心状態である

■super-effective {形} : 効果抜群の、効果 (は) 抜群で、超効果的な、通常以上に効果的な◆この表現は 1990 年代に Pokemon 英語版のゲーム内で使われ、それがきっかけで流行語のようになった。ゲームと無関係に一般的な文脈で使われることも多い。

■supertasker {名} : スーパータスカー◆複数の仕事 (task) を同時にこなすことが得意な人

■team's ability to score goals : [サッカー・ホッケー・ラグビーなどの] チームの得点能力

■throw oneself off a bridge : [絶望した人などが] 橋から身を投げる◆文脈によっては、アトラクションのバンジージャンプを指すこともある。

■triple-scoop ice cream : 3 段重ねのアイスクリーム、3 種類のアイスクリームをすくって盛り付けたもの

■Trumpflation {名} : トランプフレーション◆第 45 代アメリカ大統領ドナルド・

トランプ(Donald John Trump)氏の経済政策によって生じる可能性があるインフレーション◆【語源】 Trump + inflation

■Trumponomics {名} : トランポノミクス◆第 45 代アメリカ大統領ドナルド・トランプ(Donald John Trump)氏の経済政策◆【語源】 Trump + economics

■two-timing cheater : 〈話〉二股を掛ける浮気者

■UFO believer : UFO 信者 [の存在を信じる人] ◆「UFO (地球を訪れる宇宙人の乗り物) は実在する」と考える人。

■usually, though not always : 常にそうとは限らないが普通は、例外もあるが通常は

■vital to success in life : 《be ~》立身出世に [人生で成功するためには] 不可欠である

■waitress mom : 〈米話〉ウエートレス・ママ◆ウエートレスなどの低賃金の仕事をしている母親◆【複】 waitress moms

■want to crawl under a rock : 〈俗〉 [落ち込んだ人などが] 誰とも顔を合わせたくない [独りでどこかに閉じこもりたい] (気分である)、 [ひどく恥ずかしい思いをしている人などが] 穴があったら入りたい (気分である) ◆【直訳】 岩の下に潜り込みたい

■water fight : [遊びとしての] 水鉄砲 (を使った) 対戦、水合戦

■when the teacher isn't looking : 先生 [教師] が見ていないとき [後ろを向いた隙に] ◆生徒が授業中にこっそり何かをする場合など。

■woke {名} : 〈米俗〉ウォーク◆社会的な不正や人種差別に対して敏感であること
◆【語源】アフリカ系アメリカ人が話す英語では、awake（目覚めて、油断のない）の意味で woke が使われていることから。

■worry about something one can't change : 変えようのないことについて悩む [くよくよする] ◆しばしば「悩んでも悩まなくても事実は変わらないのだから、くよくよするだけ損」というような文脈で使われる。

■yet-to-be-named organization : 《a ~》まだ名称が決められていない組織

■yet-to-be-realized dream : 《a ~》いまだ実現されていない夢

■yet-to-be-unveiled design : 《a ~》未発表のデザイン

略語

■CDD : =contraband detection dog●密輸品探知犬

■CHO : =chief happiness officer●チーフ・ハピネス・オフィサー◆企業において、従業員の幸福度を高くすることを任務とする人

■CTA : =connective tissue attachment●《歯科》結合組織性付着

■FBSS : =failed back surgery syndrome●脊椎手術後疼痛症候群

■FPM : =flashes per minute●1分当たりの発光数 [フラッシュ回数]

■IGF-1 : =insulin-like growth factor-1●《生化学》インスリン様成長因子-1

■NDD : =narcotics detection dog●麻薬探知犬

■OBA : =on-base average● 《野球》 出塁率

■R/P : =ratio of reserves to production● [天然資源の] 可採年数

例文集「例辞郎」に追加されたデータのサンプル

■Are we sure we want to do this? : (本当に) こんなことしていいの? / 本当にこんなことするの? / やめておいた方がいいんじゃない? / こんなことしたら、やばいんじゃないの? ◆【場面】「自分たちがしようとしていることは、間違っているのではないか」と感じる。◆【直訳】「私たちはこれをしたい」と私たちは確信しているか?

■At least things can't get any worse. : 少なくとも、物事がこれ以上悪くなることはありません。 / これ以上 (は) 悪くなりようがないのが、せめてもの慰めだ。◆

【場面】とても悪い状況だが、問題は出尽くしていて、さらに悪化することはないだろう。

■Can you even do that? : そんなことが、そもそも可能なのですか?

■Come on, get a clue. : 嫌だなあ、察してくださいよ。 / おいおい、空気読めよ [鈍いやつだな]。◆【場面】細かく説明しなくても、状況を理解できるはずだ・理解してほしい。

■Don't be so paranoid. : そんなに被害妄想を抱かないでください。 / 気に [心配の] し過ぎだつてば。

■God, don't do this to me. : 神様、私にこんなことをしないでください。 / 神様、

勘弁してください [それはないでしょう]。◆【場面】つらい出来事などについて。「神がそれを起こしている」という前提で「やめてくれ」と頼む。または、そういう言い方によって、悲痛な気持ち・強い嘆きを表現する。

■Good luck with him. : あなたと彼の関係がうまくいくよう、祈っています。／彼とお幸せに [頑張って] ね。

■Here goes everything. : さあ、全てはこれに懸かっています。／これで駄目ならおしまいだ。／全てをこれに賭ける！◆【場面】いちかばちかで、何かをやってみる場合など。

■I just want this to be over. : どうでもいいから、こんなこと（早く）終わってほしいです。／（早く）終わらせたい [終わってほしい] という一心です。／終わってくれれば何でもいい。◆【場面】つらい状況・落ち着かない状況など。

■I knew there was the possibility. : その可能性がある [そうなってもおかしくないという] ことは、分かっていました。

■I learned a new thing today. : 私は今日、新しいことを学びました。／今日は一つ利口になった。

■I mean, duh! : ていうか、当たり前でしょ！／そりゃそうだって！／もちろんそうですよ！◆【参考】duh

■I promise I won't do it again. : もう二度としないと約束します。／もうしないで約束するから…。◆【場面】間違ったことをしてしまい、反省している。

■I thought this might happen. : 私は、こういうことが起きるかもしれないと考え

ました。／こんなこともあろうかと思ってね。

■I won't be blackmailed. : 私は脅迫には屈し [応じ] ませんよ。◆【場面】「いくら払え・言うことを聞け。さもないと…」という恐喝・強要などについて「応じられない」と告げる。

■I'll let this one pass. : 私は、これを見送ろうと思います。／私、これはパス。／私は、こういうのはちょっと…。◆【場面】その対象に興味を感じない。「これは駄目」と断定するわけではないが、個人的に関わりたくない。

■I'm sorry this happened. : こんなことが起きてしまい、申し訳ありません [お気の毒に思います]。

■Is that a threat? : それは脅迫ですか? ◆【場面】脅しめいたことを言われた。

■It's okay. I've been there (too). : 大丈夫ですよ。私にもそういう経験あるけど…。／心配 [気に] しないで。私にも経験あるから、事情は分かります。◆【場面】相手が気に病んでいることなどについて、話者にも同様の経験があることを伝えて「大丈夫だよ・何とかなるよ・そういう場合は仕方ないよ」などと慰める。

■No argument there. : その点については、異論 [議論の余地は] ありません。／その点は異論ない。

■None of that means anything. : そんなのは、どれもこれも無意味なことです。／そんなことには何の意味 [興味] もありません。

■Now you're going too far. : それは、やり過ぎ [調子に乗り過ぎ] ですよ。／そこまでやるのは、行き過ぎだつてば。

■Our bad. : 私たちの手違いでした。／ごめん (ね)。／悪かったな。◆【場面】複数の人を代表して謝る。俗語的。反省したり深刻に受け止めたりせず、軽く流すようなニュアンスを持つ。◆【参考】My bad.

■Recess is over. : 休み時間は、終わりです [ました] よ。◆【場面】休憩時間が終わり、作業が再開される。特に学校において、次の授業が始まる (もう始まっている)。

■Stop babying me. : 私を子ども [赤ちゃん] 扱いするのは、やめてください。

■That was too close. : 今のは、すごく危なかった…。／うわ、危なかった。◆【場面】ヒヤリとした。紙一重の差で助かった。

■That's just me being me. : それは私にとって、いつものことにすぎません。／それがありのままの私です。◆【場面】話者自身の、特定の行動や考え方について。「他人から見ると変かもしれないが、私にとってはそれが普通」とコメントする。

■That's just not going to fly. : そういうわけには、いかないでしょう。／とにかくそれは駄目です。◆【場面】そのアイデア・発想・やり方では、うまくいかない (容認されない)。◆この fly は「うまくいく・受け入れられる」という意味の口語的表現。

■The traffic was terrible. : ひどい交通渋滞でした。／ものすごい渋滞でした。

■There are no do-overs. : やり直しは、できません。

■There is no first attack in karate. : 空手に先手なし。◆空手の格言。「いたずらに好戦的になってはいけない」「まず状況を把握し、相手の動きを読まなければ、効

果的な対応ができない」などと解釈される。

■Today I learned. : 私は今日、学びました。／今日は一つ利口になった。／これは知らなかった。◆インターネット上でよく使われる表現。◆【略】TIL

■What are you, an idiot? : 何なのあんた。ばか?／ばかじゃないの?

■What the hell's your problem? : 一体何のまねだよ。／何考えてるんだよ、おまえ。／何なんだよ、その態度は。◆この hell's は hell is の省略形。the hell は、疑問詞を強調する乱暴な表現。

■What's this all of a sudden? : どういうことですか、突然。／何だよ、急に。／やぶから棒だね。◆【場面】相手の言動が唐突で、いつもと様子が違う。

■Where's what's-his-name? : あの男の人、名前何だっけ、どこにいるの?／あの何とかっていう男は、どこ?

■Why do you have to be so mean? : 何でそんなに意地悪言うの?／そんなに意地悪なことを言う [する] 必要は、ないでしょう?

■You can't unsee this. : 一度これを見ると、忘れられなくなります。／これは、一度見るとトラウマになる (内容です)。／これは脳裏に焼き付く。◆【場面】衝撃的な画像などについて (の警告)。

■You have nothing to be ashamed of. : あなたは、何も恥ずかしがることなんてありません。／あなたには、何も恥ずべき点などありません。

■You might want to give it a second thought. : それは考え直した [やめておいた] 方がいいかも (しれませんが)。◆【場面】控えめな調子で再考を促す。

■You wouldn't like me when I'm angry. : 私を怒らせない方がいいですよ。／怒った私は怖いよ…。／私を怒らせると怖いからね…。◆【場面】「言うことを聞け」と遠回しに脅す。◆【直訳】私が怒ったとき（を仮に見ることがあれば）、あなたは私を好まないだろう。

■You'll never catch me. : （おまえなんか）捕まらないよー。◆【場面】例えば鬼ごっこで逃げる側の人、鬼をからかう。

